

校区の取り組みを紹介します!

室見校区 福岡市男女共同参画ウィーク(11月3日~11月9日)関連3事業

参画ウィーク事業の一環として地域住民・男女協委員・推進委員を対象にそれぞれ行いました。

- ①地域住民対象…ファミリーサロン『お父さんと遊ぼう』
お父さんと幼児のふれあい時間のお手伝いということで、体操・読み聞かせ・親子手形を行いました。
- ②男女協委員対象…映像で学ぶジェンダー入門『男らしさ/女らしさ』DVD鑑賞、意見交換会
- ③推進委員対象…『あした咲く』DVD鑑賞、研修会 (室見校区 江藤 みどり)



飯倉校区 講演「男性の育児休業体験談」



昨年11月、実際に育児休業を取得した早良区役所の男性職員をお招きし、育児休業の体験談をお聞きました。生後間もない乳児のお世話をする中で育児の大変さや楽しさ、子どもの成長を実感できたようです。また、男性の育児休業を増やすためには「職場や上司をはじめ、周囲の理解が不可欠」と述べていました。

日本の男性の育児休業の取得率は約10%と低い現状です。男性の家事・育児への参画を促すためには、「家事・育児は女性がするもの」という誤った認識を改めなければなりません。

参加者からは「息子に育休を取らせる」という嬉しい声も聞かれました。
(飯倉校区 細川 勝子)

田村校区 視察研修「貿易商・大浦 慶の生涯を探る」

昨年11月、校区男女協委員で嬉野市にある『お茶ちや村』を訪問しました。幕末から明治にかけて、当時では想像だにしない製茶の輸出事業を成し遂げた「大浦慶(おおうら・けい)」という女性が活躍した場所です。

大浦慶は、女性の地位が男性より低く抑えられていた時代に日本茶の美味しさを海外に伝え、茶貿易商として地位を築き上げていった人です。信念を持って行動する力強い生き様や熱い思いに触れて、私たち自身の生きる力や活動のエネルギーをもらえました。

(田村校区 緒方 豊子)



令和3年度委員紹介

百道浜 福田 芳子	西 新曲 手 さよみ	百 道 武 田 ゆかり	高 取 一坊寺 優子	室 見 江 藤 みどり
原 松 永 真喜子	大 原 藤 田 千恵子	原 北 李 次子	小 田 部 山 口 由美	飯 倉 中 新 宮 義 雄
飯 原 日 高 範子	原 西 野 上 ひとみ	飯 倉 細 川 勝子	有 田 斉 藤 和 久	有 住 中 村 名 菜 代
賀 茂 井 手 口 まり	田 隈 西 島 和 美	田 村 緒 方 豊子	野 芥 日 高 知 子	四 箇 田 木 下 まさ子
入 部 立 石 妙 子	脇 山 真 子 美 穂	内 野 曲 淵 家 永 博 子	早 良 北 崎 エミ子	

かたらい

だれもが、性別にかかわらず いきいきと輝ける社会をめざしましょう!

男女共同参画社会 ってなに?



福岡市男女共同参画基本計画(第4次)概要版より

「男のくせに…」、「女だてらに…」、そんな言葉を、思わず言ってしまった、そんな経験はありませんか?

職場でも、家庭でも、地域社会でも、性別にかかわらず、だれもが尊重され、その人の個性や能力に応じて活躍できる社会、それが「男女共同参画社会」です。

「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という固定的な役割分担意識を持つ人は着実に減ってきていますが、一方、長引くコロナ禍で、仕事における男女の格差や、家庭での女性の負担の大きさがはっきりと見えてきたのもまた事実です。政治分野や、職場、地域社会において女性リーダーが少ない現状も、なかなか変わっていきません。

だからこそ、わたしたちは、一人ひとりがいきいきと輝き、「なりたい自分」になれる、そんな社会を目指して、これからも一緒に考え、学び、地道に活動していきましょう。



早良区男女共同参画をすすめる会は、下記の宣言を校区活動の指標とし活動しています。

早良区男女共同参画をすすめる宣言

- ①地域で「男女共同参画について考える機会」を提供し、個々の意見を尊重・共有する。
- ②学びと気づきに努め、その成果は発信する。
- ③公民館や校区の各団体の皆さんとの連携に努める。
- ④自治協議会の一員として、「男女共同参画の視点」から校区行事を盛り上げる。

ブロック活動紹介

すすめる会では、
区内を4つのブロックに分けて研修などを行っています。
令和3年度は、次の3つのブロックで研修を行いました。

Bブロック (飯倉、有田、有住、賀茂、田隈、田村校区) 「セクハラ#Mee Too 男女共同参画社会」

令和3年10月9日(土) 有住公民館 講師 原田 直子さん(女性協同法律事務所所長)



原田弁護士が実際に携わった日本初のセクハラ訴訟「福岡セクハラ訴訟」をはじめとした女性へのセクシャルハラスメントに関するお話を中心にお聞きました。

とある出版社で働く女性が、男性上司から度々心無い言動を受け、最終的に会社を退職するまで追い込まれたという内容で、いたたまれない気持ちになりました。同時に、女性の地位向上がいかに大切で大変なことであるかを痛感しました。

コロナ禍で人々が孤立していく社会状況の中、男女がお互いを尊重し助け合える社会になってほしいと思うとともに、1人でも多くの孤立している人たちに手を差し伸べられる活動ができればいいなと感じました。

(有田校区 齊藤 和久)



講師とBブロックのすすめる会委員

Cブロック (大原、原北、小田部、飯倉中央、飯原、原西校区) 「男も女も、ともに輝く日々を」

令和3年10月30日(土) 大原公民館 講師 山口 裕之さん(マザー・アース人権啓発研究所主宰)

童謡「七つの子」の話に考えさせられました。

歌詞に登場するカラスは「炭鉱夫」で、単身赴任の出稼ぎ労働者を表しているという一説の紹介です。まさに古き日本社会の「男は外で働き、女は家を守る」という背景が色濃く反映したものといえるでしょう。

このような認識は徐々に薄まっているとはいえ、現代にも根強く生きています。そのなかでいかに男女共同参画社会を実現するか。大きいことはできません。まずは何事も相手の立場になって考えてみる事が大切ではないでしょうか。これは山口さんが言われた「自分にできることから確実に」という言葉にもつながるでしょう。

(飯倉中央校区 安元 文人)



Dブロック (百道浜、西新、百道、高取、室見、原校区) 映画上映会「マダム・イン・ニューヨーク」

令和4年1月29日(土) 高取公民館



(c) Eros International Ltd.



「英語ができない、お菓子作りしかできない。」と夫や子どもにも下に見られていたインドの専業主婦が、ある事件をきっかけに英会話スクールに通うことを決め、様々な国の人との出会いから、自信と自尊心を取り戻していきます。けなげに頑張る主人公を、いつの間にか必死に応援していました。「まず一步を踏み出すことが人生を変えていく。」この映画で言いたかったことの一つだと思います。

主人公が一生懸命英語で話す娘の結婚式でのスピーチです。「互いに助け合って、対等だと感じられるように。自分は劣っていると思うことがあっても、自分を助ける最良な人は自分。そうすれば対等の関係が戻ってくる。人生が輝く。」

人は、置かれている立場や状況がそれぞれ違います。性差も含め、その違いを認めて対等な気持ちで互いに助け合っていく社会、それが男女共同参画社会ではないでしょうか。

大きな社会からは注目されない、家庭・地域といった小さな世界の中でも、自分を愛し、他人を愛し、生きがいを持って暮らしていければ、こんな幸せなことはいずれですね。

(百道校区 江口 智之)



★告知★

令和4年度 早良区男女共同参画講演会

令和4年度は11月3日(木・祝)に開催決定!!

令和4年2月12日(土)に予定していた早良区男女共同参画をすすめる会のメインイベント「早良区男女共同参画講演会」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により残念ながら中止となりました。

本講演会では、元女子柔道選手(ソウルオリンピック銅メダリスト、世界選手権金メダリスト)で現在、筑波大学教授として活躍されている山口 香(やまぐち かおり)さんを講師にお招きし、「変わる勇気、変えるアクション」と題して講演いただく予定でした。

地域の皆さまから「山口さんの講演を楽しみにしていた!」「ぜひ来年度に開催してほしい!」との声を多数いただきましたので、改めて山口さんをお招きし、早良区男女共同参画講演会を開催することが決定しました!

詳細につきましては今年の10月頃に、早良区役所ホームページや早良区版市政だよりでお知らせします。お楽しみに。

日時: 令和4年11月3日(木・祝) 時間未定

場所: 早良市民センターホール
(早良区百道2-2-1)

11月3日~9日は
「みんなで参画ウィーク」
福岡市独自の男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」



山口 香さん